品川区広報

7月号





みたり聞いたりためしたり
区立青年館の科学室

あすを創造する力、科学に青少年が強くなってもらおうとことし2月に開館した品川区立青年館（西大崎1-2-3）の3階に科学室が公開されています。

この科学室は、青少年が実験や観察を通じて科学の夢を育て学習仲間が健全なグループ・ワークを行なう場所です。

主な科学実験機器には、スーパースコープ（電子顕微鏡）、光学顕微鏡、職業適性検査器や、各種の体力測定機器があり、そのほかにテレビカメラと受像機、気電警報機が備え付けられています。実験、観察ばかりでなく、パネル等で毎月タイムリーな展示をして、生活に結びついた科学も勉強できるようにしてあります。

科学室は、青年館の休館日に当る毎週月曜は休みです。

公開時間は、金曜の午後を除き火曜から日曜まで毎日午前10時から正午までと午後1時から午後5時まで。特に水曜は勤労青少年のために、午後9時まで公開しています。

このほか、科学室では、科学映画も上映しています。映写日時は、水曜の午後4時と午後7時30分、土曜・日曜は午後4時からです。1回の上映時間は約一時間です。



発行所　東京都品川区区民部　東京都品川区北品川3-244　電話 491-0151（代表）

こなが わ おちらこちら

北品川1丁目

北品川1・2・3丁目は、宿場町として栄えた昔のおもかげをいまなおただよわせ、旧道ぞいの商店は、おちついたふんいきを持っている

左下の写真は、明治40年頃の品川町通り。写真右側黒い2階建ての家は、大橋楼という貸し座敷。白い建物は富貴軒という西洋料理店。ここの1階は京浜急行の発着所となっており現在のステーションビルというところ。つきあたりの本正は



限界に来た陸上交通

6月の"われらの街"で品川区の人口は42万3120人（40年10月の国勢調査）、人口密度が1平方キロメートル当り2万6140人、東京都23区のうち4番目のスシヅメ人口だと書きました。

この人口の過密という問題は東京都としても悩みの種で、都は人口の都心集中を防ぐために渋谷、新宿、池袋に副都心を作って、集中する人口を分散しようとはかり、国でも、首都地域を従来の50キロから100キロにひろげて都心に集中している事業所や人口を都市開発区域にばらまこうと考えています。一方都心では、使われなくなった工場の跡地を都や区が買ってそこへ公園や児童遊園をつくったり、建築物の共同化や高層化を進め交通マヒの原因となる交差点の立体化をはかり、道路や上下水道の整備を進めて、都市の再開発に努力しています。

ガンはターミナル駅

都会の動きは、先ず人の流れから始まります。通勤、通学者の群が移動をはじめると、人の流れが、ウズとなり、タキとなって郊外から都心へ向かい、夕方にはふたたびウシオの引くようにそれぞれの振り出しへもどって行きます。39年中の品川区内私鉄22駅の一日平均乗車人員は41万人、これに対して国鉄4駅だけで20万でした。これは、郊外からの交通機関が一たん国鉄環状線でカットされ、各私鉄とも都心へ直通していないのが主な原因の一つです。こうした国鉄ターミナル駅の混雑は交通圏の拡大するにつれて、増すばかりでしょう。

地下鉄に望みかける

こうした路面交通の混雑をかんわするため地下高速鉄道による輸送力の増強が図られています。品川区内を通過するものに西馬込―桐ケ谷―五反田―東銀座―押上（1号本線）の18.5キロ、桐ケ谷―五反田―泉岳寺―日比谷―巣鴨―埼玉県大和田（6号線）の30.5キロが計画され、馬込―押上間の工事は、区内ですでに始められており、43年7月に全線が開通します。

ヒシメク車が16万台

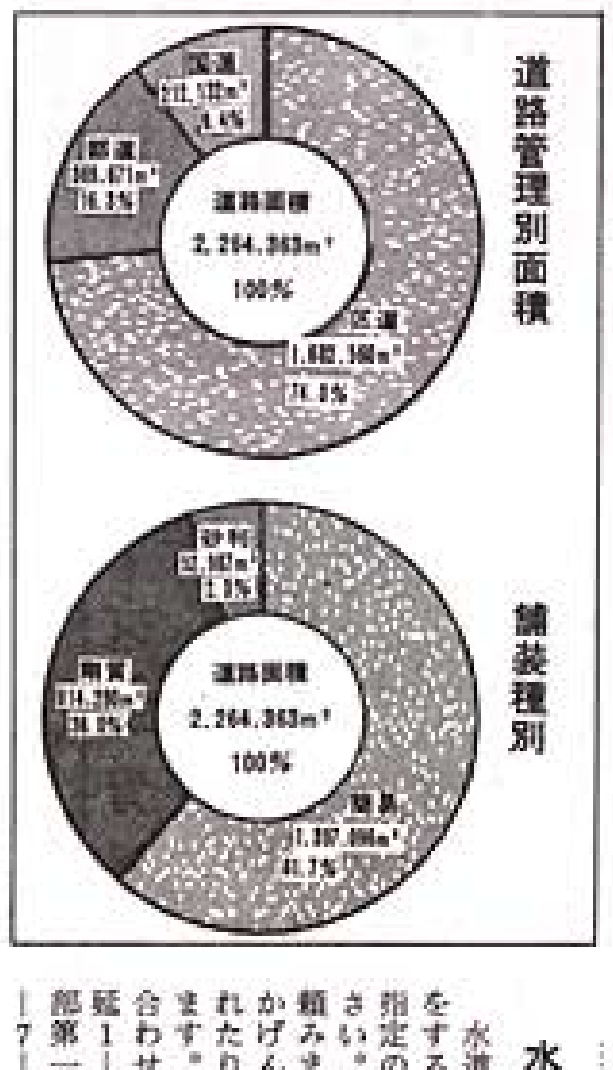
道路交通量は、都内各地区とも増えていますが、30年を1とすると、39年は、都心3区が1.78倍、山手線内は2.15倍、山手線外は3.17倍と、都心から外周部に向って増えて来ています。したがって、混雑地点も都心からちくじ外に波及して来ています。昨年9月に警視庁が調べたところ朝7時から夕方7時までの12時間に、大崎広小路では8万7828台、そのすぐ西側にある放射1号交差点では、2万6880台、区役所前の交差点では5万1802台（いずれも3輪車以上）の自動車がひしめきあっています。

日中12時間に処理できる交通量は、3万台が限度といわれていますから、混雑の程度も限度をこえています。

39年4月1日現在、都内23区の道路面積は62・35平方キロメートル、区部総面積と比較した道路率は11%。品川区では14・1%で23区のうち6位です。それでもワシントンの43%、ロンドンの23%パリの24%に比較すると差の大きいのがわかります。

せまられる道路の改良

道路にとって、重要な舗装状況を見ると、41年3月末現在、品川区内の道路の延長33万4089メートル、面積226万4083平方メートル。このうちコンクリート舗装などの剛質舗装は36%、簡易舗装は61・7%、未舗装の砂利道はわずか2.3%です。しかし、簡易舗装や砂利道は、現在の品川区内の交通情勢には強度が充分ではありません。中級舗装か、高級舗装に改良することが必要になって来ています。このため区では、41年度の予算に道路維持費として、剛質舗装1100平方メートル、簡易舗装18万平方メートルの維持に1億1880万円。路面改良中級舗装6万平方メートル分として2億2200万円、道路を拡幅するための土地購入に1034万余円を計上しています。



水道工事にご用心

水道を新しく引いたり、修理をする時は、必ず水道局か、都指定の水道工事店をご利用ください。指定工事店以外の業者に頼みますと、悪い材料や、いいかげんの工事、無届の工事をされたり、法外な費用を請求されます。水道工事についての問い合わせ先は▽荏原営業所（西中延1―9―10電話782―8141）▽南部第一支所（大田区大森本町1―7―10電話763―4171）

台風被災者に税の減免

6月28日の4号台風被災者の方は、都税・区税の減免が受けられます。被害の程度により、減免の額が違いますから、くわしいことは品川税務事務所、区の税務課へご相談ください。

みんなで退治しましょうアメリカシロヒトリ

7月は国税と都税の納期です

昭和四十一年度の申告所得税（第1期分）・固定資産税・都市計画税（第2期分）は今月が納期です。7月31日は日曜なので、8月1日が納期限となりますから、お忘れなくお納めください。

荏原税務署は新庁舎（中延1―1―5）に移転しましたので荏原地区にお住いの方はご注意ください。電話は782―5271です。

住民登録世帯と人口
6月1日現在

世帯		159,794
人口		411,960
男		211,935
	増	138
女		200,025
	増	298

陸 空 二等海士 自衛官募集中

くわしいことは、区民部区民第一課・第二課、またはお近くの出張所でおたずねください。

永久選挙人名簿をつくります

区選挙管理委員会では、先日の一斉資格調査の結果にもとづいて永久選挙人名簿に登録される人の資格審査を進めています。

この名簿に登録される人は、日本国民で、昭和21年10月1日以前に生れた人で、6月20日の調査日現在引き続き3か月以上品川区に居住している人です。ただし、今回の名簿調製に限り6月20日に都内他区から品川区に転入した人も、他区の居住期間を通算して、3か月以上になれば、住所についての要件をみたすことになります。

いままでの選挙人名簿は、毎年つくりかえられていましたが、この永久選挙人名簿に一度登録されますと、いままでと違い品川区内に住んでいる限り、永久に名簿に登録されています。この名簿は9月30日に確定して、9月30日以後の選挙に使われます。

永久選挙人名簿は、今回の「一斉資格調査」にもとづいて作られますので、調査員が伺わなかったお宅がありましたら、至急、区選挙管理委員会事務局（471—1201）へお問い合わせください。

電話番号が変わります

品川区役所の電話番号が7月30日午後5時から変わります。

区役所	（交換台）	474—3333（代表）
区長室	（直通）	474—0010
区税務第一課	（〃）	474—1541～3
国保課	（〃）	474—1544～5
総務課	（〃）	474—1546
財務課	（〃）	474—1547
厚生課	（〃）	474—1548
区民相談室	（〃）	474—1549
区議会事務局	（〃）	474—1550

遺跡や史跡を守ろう

品川区には、わたくしたちの祖先が作った遺跡・史跡など、郷土の文化に密接な関係がありそして歴史上・学術上に価値の高い文化財がたくさんあります。

ところが最近、町の発展でこれらの文化財が破損したり、紛失したりすることが多くなりました。わたくしたちはこれらの文化財を保護し、ながく後世に伝えていかなくてはなりません。

区内には、「東京都遺跡目録」に登録されている遺跡が10か所もあります。この遺跡の付近で建築・土木工事をしようとするときは、その30日前までに区の教育委員会（471—1201）に届け出てください。そのほか、福沢諭吉の墓・伊藤博文の墓・鈴ケ森刑場跡・大森貝塚など、国や都の指定、区の認定・選定になっている文化財があります。これらを紹介したパンフレットが社会教育課にありますのでご利用ください。

東京都遺跡目録に登録されている遺跡

名称	種別	時代	所在地
桐ケ谷遺跡	集	縄	荏原1丁目
居木橋遺跡	貝	縄	東大崎3—350
居木神社境内	集	縄	東大崎3丁目 居木神社
中丸遺跡	集	縄	上大崎中丸
上大崎遺跡	集	縄	上大崎1丁目
戸越公園遺跡	集	縄	戸越5—8
御殿山遺跡	貝		北品川3—225
西光寺遺跡	貝	縄	大井4丁目 西光寺
仙台坂遺跡	貝	縄	東大井1丁目
大森貝塚	集	縄	大井6—21

集＝集落跡　縄＝縄文時代　貝＝貝塚

夏は交通事故がうなぎのぼり

つゆ明けとともに本格的な夏になります。例年のことながら夏は、交通事故がうなぎのぼりに増加するシーズンです。

夏は昼が長いので、それだけ疲れやすく、夜は短いうえに寝苦しいので、つい睡眠不足になります。そこで、車を運転する人は、絶えず体の調子に気をつけ、じゅうぶん睡眠をとるよう心がけ、運転中に眠くなったら停車して軽い運動をするとか、タバコを吸うとかして「ねむけ」をよくさましてください。

また、夏は、バイク族にとって絶好の季節で、とりわけ高校生など若い年代のグループが夏休みを利用して遠乗りを計画したり、神風運転などをしやすいので、家庭の方はじゅうぶん注意し、乗車するときは、必ずヘルメットを着用させてください。

グループ活動で楽しい夏休み

子どもたちにとって一番楽しい夏休みが近づきました。ところがこの時期は一番非行にはしりやすい危険な時期なのです。

品川区青少年問題協議会は、夏休み中の児童生徒を、父母や地域の人々が手を取りあって、若い芽を正しい方向に伸ばすことに重点を置いた夏季青少年対策をたてました。

これは、子どもたちに勉強や遊び友だち同志でグループを作らせ、子どもたち自身の考えを尊重して、いろいろの行事を行ない、夏休みをあやまちなく過ごさせようというものです。

一方、父母たちも、子どものグループにあわせて、父母のグループを作り、親たちは親たちで連絡しあい、子どもの立場を尊重しながら指導して行きます。

この活動は、たんに夏休み中だけでなく、これからいっそうこの活動を活発にしていただき日常生活の中に地域社会への連帯感を強めていっていただこうというものです。

子どもたちを正しい方向に伸ばすには、父母や学校の指導だけでは力はおよびません。自治会や町会など地域社会の力にあわせて、区民ひとりひとりが親がわりとなる気持がたいせつです。

―くらしに強くなる―「消費生活展」

8月9日から　阪急大井店で

より明るく、豊かな生活ができるよう、区では8月9日から14日までの6日間、阪急百貨店大井店6階で、"消費生活展"を開きます。

これは、新製品が続々と製造され、そのPRや販売競争が激しくなっているおりから、いろいろな消費物資の実物を展示して説明を加え、新製品に対する知識を豊かにし、あわせて気のつかない暮しの常識を思い起していただこうという催しです。

みんなで社会を明るくしよう

7月1日から1か月にわたり"社会を明るくする運動"が全国一斉に展開されています。

この運動は毎年行なわれ、今回は16回目です。区でもこの運動の実施委員会（島本正一委員長）を設け、「青少年の非行防止」に区民の協力をもとめています。品川区では保護司会（岡崎栄女会長）が中心となって、社会環境の健全化をはかり、不幸にして非行におちいった青少年が立派な社会人に立ち直るよう、愛の手をさしのべる気運を盛りあげようと、区民のみなさんにお願いしています。

区立中延保育園・中延児童センターが開園

7月1日、区立の中延保育園と中延児童センター（西中延1―6―16）が開園しました。

この建物は延べ面積1,138平方メートルの鉄筋4階建てです。1階と2階が保育園で乳児40名と幼児80名を収容します。3階と4階は区で初めての児童センターで、最寄りの保育園の卒園児や小学校の低学年児童40名の学童保育クラブになっています。4階は集会室で、80名程度までの集会に利用できます。利用の受付は第二庁舎管理係（電話03151）でしています。

使用料は次のとおりです。

	午前	午後	夜間
	9時／12時	1時／5時半／10時	
集会室	200円	250円	1,200円
拡声機	200円	100円	300円

ちょっとの努力で快適な夏を

夏の大敵、蚊とハエを撲滅しましょう。

蚊を退治するコツは、ぼうふらがわかないようにすることです。下水などはよく掃除してたえず流れをよくしましょう。空かん・空びんなどは雨水がたまらないように始末し、池・防火用水などには金魚を飼ったりしましょう。

ハエは、きれいなところでは生きていかれません。ですからゴミを捨てるときは必ずふたのある容器に入れ、外にこぼれないようにしましょう。犬をつれて歩くときは小さなスコップなどを持参しフンをすくかたづけましょう。

また、便所の窓に網を張ったり、汲取口・便器に完全なふたをするようにしてハエの侵入を防ぎましょう。

区では散布器具を無料でお貸しいたします。

区では、蚊やハエの退治用にエンジン・スプレー、蚊取線香などを貸し出していますからお申し込みのうえご利用ください。器材使用の申し込みや害虫駆除のご相談は、区民第一課（内線252）または、区民第二課（内線252）へどうぞ

有利な通算老令年金

違った年金でも、その加入期間を通算して25年以上になる人には「通算老令年金」が支給されます。これは、いままでの年金制度では、同じ年金に20年間加入していないと、一時金しかもらえませんでしたが、この不利益をなくしたものです。

公の年金制度には、いくつもの種類があり、職業をかえると加入する年金も、厚生年金、共済組合、国民年金などとかわる場合があります。

しかし、加入した年金がかわっていても、一年以上加入していた年金について、それぞれの加入期間を通算し、25年以上になった場合、老令年金と同じ方法で支給額が計算されます。期間の通算は、同一年金について1年未満は切り捨てられます。

なお、昭和5年4月1日以前に生れた人は、25年の加入期間が、年令によって、最高24年から最低10年までの期間に短縮されます。

区民のひろば

こん月の表紙の写真は、明治40年ころの東品川地内の写真をのせました。大橋一郎氏（北品川1―54　56歳）石井えい氏（北品川1―94　75歳）増田よし氏（北品川1―93　65歳）西山伊之助氏（北品川2―158　76歳）らの話によると、品川町には、この富貴軒のほかに松坂屋、大井軒という西洋料理店があり、中でも富貴軒が一番高級で、1品料理が3銭、カレーライス10銭、上ランチ15銭だったといいます。当時富貴軒の一階は、京浜急行の終着駅で、八ツ山橋―横浜間が片道21銭、往復40銭でした。京浜急行が国鉄品川駅に乗り入れたのは昭和8年4月1日からです。

大正12年の関東大震災の頃にこの旧国道にそって現在の京浜第一国道の工事が進められており、品川町の人々は、建設中の道路の上に避難したということです。

明治・大正時代の写真をお持ちの方はご協力ください。連絡先は電話品川局0151区民第一課広報係。

印刷所　品川印刷工業株式会社　東京都品川区南品川1-13　電話 471-7501・7502